

秋田自動車道  
和賀仙人トンネル東工事

割掛対象表参考内訳書

- ・ 割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- ・ 割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受付けない。

令和8年5月

東日本高速道路株式会社 東北支社  
横 手 工 事 事 務 所

## 割掛対象表参考内訳書

### 【共通仮設費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図 面
工所用機械 運搬費 （トンネル工 事分）	トンネル工事における質量 20 t 以上の重建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	・ホイールローダ サイドダンプ 3.0 m <sup>3</sup> 級－24t－1 台－6 往復 ・運搬距離 68km（片道）	—
工所用機械 分解組立費 （土工工事 分）	土工工事における重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	・21 t ブルドーザ－1 台－1 往復 （現場内移動 本線→下り線油水分離ます施工箇所）－1 台－2 往復 ・32 t リップ付ブルドーザ－1 台－1 往復 ・20 t 湿地ブルドーザ－1 台－3 往復 ・1.0 m <sup>3</sup> 級バックホウ－1 台－1 往復 ・運搬距離－68km（片道）	—
工所用機械 分解組立費 （地盤改良工 事分）	地盤改良工事における重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	・1.4m <sup>3</sup> 級バックホウ－31 t－1 台－1 往復 ・運搬距離－68km（片道）	—
工所用機械 分解組立費 （トンネル工 事分）	トンネル工事における重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	・20 t 湿地ブルドーザ （岩沢本線外仮置場）－1 台－5 往復 （湯田ダム本線外盛土場）－1 台－4 往復 （南本内ヤード）－1 台－2 往復 （トンネル工インバート埋戻し）－1 台－1 往復 ・1.0 m <sup>3</sup> 級バックホウ （坑外ずり積替え場）－1 台－1 往復 （岩沢本線外仮置場）－1 台－5 往復 （南本内ヤード）－1 台－1 往復 ・2 ブームホイールジャンボ 150kw 級－1 台－3 往復 ・3 ブームホイールジャンボ 170kw 級－1 台－3 往復 ・油圧削岩機 200kw 級－1 台－4 往復 ・油圧削岩機 300kw 級－1 台－3 往復 ・コンクリート吹付機（湿式 6.0～22.0 m <sup>3</sup> 級）－1 台－1 往復 ・H鋼打設用クローラークレーン－50t 吊－1 台－2 往復 ・運搬距離－68km（片道）	—
工所用機械 分解組立費 （ベルトコン ベア工事分）	トンネル工事のうち、連続ベルトコンベア施工における重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	・テールピース台車－45kw 級－1 式－1 往復 ・ジョークラッシャー－130kw 級－1 式－1 往復 ・ストレージカセット－300m 巻－1 式－1 往復 ・運搬距離－68km（片道）	—
仮設材運搬費	仮設材等（H型鋼等）の運搬に要する費用をいう。	・H-300×300×10×15－延長（L=6.5m）－32 本（中古品） ・運搬距離－68km（片道）	—
仮設防護柵運 搬費	本線及び岩沢工所用道路で使用する仮設防護柵（貸与品）を湯沢 IC 資機材置場から現場までの運搬に要する費用をいう。	・運搬経路－湯沢 IC 資材仮置場～一般道～北上西 IC～現場～湯田 IC～一般道～湯沢 IC 資材仮置場 ・運搬総重量－145.03 t ・運搬距離－130km（往復）	—
電力基本料金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	・高圧 B、総電力使用量 1,620 万 kwh 東北電力ネットワーク（株）	—
地質調査等費	補強土壁工及び坑門工施工箇所における平板載荷試験に要する費用をいう。	・平板載荷試験 補強土壁工－5 箇所 坑門工－1 箇所 岩沢工所用道路 L 型擁壁工－1 箇所	○

基準試験費 B	トンネル施工管理要領に基づいて行う中流動繊維補強覆工コンクリートの配合決定のための基準試験に要する費用をいう。	・ 試し練り－1 回 ・ 実機試験－1 回	
ロックボルト長さ検査費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	・ 超音波探傷器供用日数－59.2 ヶ月	－
監督員詰所費	監督員詰所の営繕（設置・撤去、維持、補修）に要する費用をいう。	・ 建物面積－30 m <sup>2</sup> ・ 設置期間－83.0 ヶ月	－
火薬庫費	火薬庫の営繕（設置・撤去、維持、補修）に要する費用をいう。	・ 火薬庫、火工品庫、取扱所及び火工所－1 式	○
トンネル呼吸用防護具費	トンネル工事における電動ファン付粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	・ 電動ファン付呼吸用保護具（半面形面体）－1 式	－
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	・ 坑門工－16 箇所 上向き作業－4 箇所 側面作業－8 箇所 下向き作業－4 箇所	－

#### 【準備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用道路維持補修費	岩沢工事用道路の散水・清掃に要する費用をいう。	・ 岩沢工事用道路 1 日 2 回（1 時間程度）の散水 散水車－5,500～6,500L 散水期間－4 月～11 月－54.0 ヶ月 清掃面積－7,400 m <sup>2</sup> /回	－
工事用車両泥落とし装置費（湯田ダム）	湯田ダム本線外盛土場に設置する泥落とし装置（リース品）のリース費、設置・撤去費、運搬費に要する費用をいう。	・ 湯田ダム本線外盛土場 全車輪回転型、乾式－1 台－26 ヶ月 ・ 運搬距離－79km（片道）－4 往復 （冬季休止期間は撤去・搬出を行う）	－
工事用車両泥落とし装置費（越中畑）	越中畑本線外盛土場に設置する泥落とし装置（リース品）のリース費、設置・撤去費、運搬費に要する費用をいう。	・ 越中畑本線外盛土場 全車輪回転型、乾式－1 台－10 ヶ月 ・ 運搬距離－89km（片道）－2 往復 （冬季休止期間は撤去・搬出を行う）	－
工事用車両泥落とし装置費（南本内）	南本内ヤードに設置する泥落とし装置（リース品）のリース費、設置・撤去費、運搬費に要する費用をいう。	・ 南本内ヤード 全車輪回転型、乾式－1 台－18 ヶ月 ・ 運搬距離－81km（片道）－3 往復 （冬季休止期間は撤去・搬出を行う）	－
坑内外仮設備保守費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	・ 保守期間－59.2 ヶ月	－
坑内仮排水設備費	坑内仮排水用の排水溝または素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	・ 工事用水中ポンプ φ50mm－2 台 素掘側溝－3,182m 設置期間－61.2 ヶ月	－

【仮設備工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図 面
足場工費	擁壁工及び土押え工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	・手摺先行枠組足場 重力式擁壁B－43.8 空 $m^3$ 土押え工 北上西 10 ボックス－32.1 空 $m^3$ 土押え工 北上西 11 ボックス－19.6 空 $m^3$	－
のり面用足場工費	切土補強土工D 2 2・L＝7.5m、切土補強土工D 2 2・L＝8.0m、切土補強土工D 2 2・L＝8.5mの施工に必要な足場工に要する費用をいう。	・切土補強土工仮設足場－627.1 空 $m^3$	○
トンネル用足場工費	坑門工及び非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	・手摺先行枠組足場 坑門工－609.6 空 $m^3$ 非常駐車帯妻部－198.2 空 $m^3$	－
トンネル用支保工費	坑門工の拡幅断面から標準断面への施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための仮設の支保構造物に要する費用をいう。	・載荷荷重－2.2 t/ $m^2$ （平均値）－620.4 空 $m^3$	－
ベルトコンベア据付解体費	ずり処理工に使用する連続ベルトコンベアの損料、据付解体及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	・坑内 メインドライブ－160kw 級－1 式 ストレージカセット－300m 巻－1 式 テールピース台車－45kw 級－1 式 ジョークラッシャー－132kw 級－1 式 中間部ベルトコンベア（ベルト幅 610mm）－1 式 （掘進に伴う延伸分も含む） ・坑外 固定ベルトコンベア（ベルト幅 750mm）－30kw 級－1 式	○
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	・ダンプトラック 10t－延べ数量 91.7 台・月	－
ターンテーブル設備費	トンネル坑内にて使用するターンテーブル設備の設置、坑内移動、撤去及び供用日損料に要する費用をいう。	・ターンテーブル設備 存置月数－56.7 ヶ月 設置・撤去－1 回 移動回数－30 回	○
インバート栈橋設備費	トンネルのインバート工の施工における仮栈橋に要する費用をいう。	材料費は全損扱いとし、設置・撤去費を含む。	－
吹付設備費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	・吹付けプラント設備組立解体 1 式－設置期間 59.2 ヶ月 ・コンクリートの敷設・撤去・処分－50 $m^3$	－
積卸し設備費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の積卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費をいう。	・ラフタークレーン油圧伸縮ジブ型 10t 吊－61.2 ヶ月 ・黒煙浄化装置付クレーン装置付トラック 4 t－61.2 ヶ月	－
換気設備費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を許容濃度以下に希釈するに必要な換気設備に要する費用をいう。	・送風機運転 3,000 $m^3/min$ (160kw×2)－L＝3,152m－57.7 ヶ月 ・集塵機運転 2,000 $m^3/min$ (42kw)－48.6 ヶ月 ・送風管損料 難燃性ビニール風管 (φ1700) 1 式	－

給水設備費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要給水設備に要する費用をいう。	<b>【取水場→水槽】</b> ・取水ポンプ 3.7kw-61.2ヶ月 ・取水管 φ65、L=66m <b>【水槽→坑内】</b> ・給水ポンプ(タービン) 7.5kw-61.2ヶ月 ・給水槽(20m <sup>3</sup> -設置・撤去)-1箇所-61.2ヶ月 ・ガス管白ネジ付 坑内-3,182m、坑外-105m	—
工事中電力設備費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び照明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	・受配電設備・架空線-1式	—
工事中電力費	トンネル坑内・外の動力及び照明用の使用電気料をいう。	・主要使用設備-1式 ・電力使用期間-61.2ヶ月 ・契約電力量-802kw	—
足場費(覆工防水工・補強鉄筋用)	トンネル覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	・足場台車 損料・組立・解体1式 —使用延長 3,182m(本坑)、130m(避難連絡坑)	—
汚濁水処理設備上屋費	汚濁水処理設備の上屋に要する費用をいう。	・仮設ハウス(フラット型)2階建て-4間×9間-59.2ヶ月	—

#### 【雑工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
切土部施工基面の整形費	土木工事共通仕様書 2-6-5(6)の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	・切土部施工基面の整形(土砂) -8,223m <sup>2</sup> (軟岩) -801m <sup>2</sup>	—
のり面仕上げ費	土木工事共通仕様書 2-6-5(8)及び 2-7-5(6)に規定する作業に要する費用をいう。	・切土のり面仕上げ(土砂) -153m <sup>2</sup> ・盛土のり面仕上げ(1:1.8) -5,833m <sup>2</sup>	—
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	・火薬の取扱区分(トンネル1本単独) -発破施工期間 39.3ヶ月	—
箱抜き工費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	・木製型わく-1,013m <sup>2</sup> ・箱抜き補強材の設置 鉄筋 D13-0.7t、D16~D19-0.2t、補強プレート-16.3t ・既設支保工の切断撤去-13.6t	○
箱抜き工費(避難連絡坑坑扉部)	避難連絡坑扉のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	・木製型わく-228m <sup>2</sup> ・箱抜き補強材の設置 補強プレート-0.3t ・既設支保工の切断撤去-0.7t	○
インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	・木製型わく-1,165.3m <sup>2</sup>	—
坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	・土のう(62cm×48cm) -1688袋 ・外型わく(キーストンプレート 650×25×1.2) -54.0m <sup>2</sup> ・吹付けコンクリート(t=20cm) -52.5m <sup>2</sup> ・コンクリート吹付け(t=10cm) -414.1m <sup>2</sup>	○
防音扉費	爆破音等を低減するためにトンネル坑口付近に設置する扉に要する費用をいう。	・防音扉1式-1基	○

防護扉費 (避難坑)	トンネル爆破掘削施工時の衝撃を防止するために既設避難坑に設置する扉に要する費用及びトンネル爆破掘削の進捗に伴う移動、再設置に要する費用をいう。	・防護扉 1 式－1 基 (設置回数 1 回、移設回数 8 回、撤去回数 1 回)	○
防護扉費 (避難連絡坑) A	トンネル爆破掘削施工時の衝撃を防止するために人道用既設避難連絡坑に設置する扉に要する費用及びトンネル爆破掘削の進捗に伴う移動、再設置に要する費用をいう。	・防護扉 1 式－1 基 (設置回数 1 回、移設回数 7 回、撤去回数 1 回)	○
防護扉費 (避難連絡坑) B	トンネル爆破掘削施工時の衝撃を防止するために車道用既設避難連絡坑に設置する扉に要する費用及びトンネル爆破掘削の終了に伴う撤去に要する費用をいう。	・防護扉 1 式－1 基 (設置回数 1 回、撤去回数 1 回)	○
避難連絡坑取 付部撤去・補 強工	Ⅱ期線本坑の施工に伴い既設避難連絡坑取付部の補強並びにⅡ期線にて施工した支保工の撤去に要する費用をいう。	・9 箇所	○
既設避難連絡 坑内防護工 A	既設人道用避難連絡坑内側に設置する避難連絡坑爆破掘削時の防護工に要する費用及び移動、再設置に要する費用をいう。	・防護工 1 式 (設置回数 1 回、移設回数 2 回、撤去回数 1 回)	○
既設避難連絡 坑内防護工 B	既設車道用避難連絡坑内側に設置する避難連絡坑爆破掘削時の防護工に要する費用及び避難連絡坑爆破掘削の終了に伴う撤去に要する費用をいう。	・防護工 1 式 (設置回数 1 回、撤去回数 1 回)	○
撤去工費 (避難連絡坑 Ⅰ期線接続 部)	拡張された避難連絡坑の接続に伴いⅠ期線既設覆工部の撤去に要する費用をいう。	・4 箇所	○
仮囲い工費	中央分離帯側に設置するトンネル仮設備の仮囲いを目的としたフェンスの設置及び撤去に要する費用をいう。	・設置延長 (L=85m) ・設置月数 76 ヶ月 (全損)	○
土砂防止柵費 (盛土のり面 用)	S T A 4 3 + 0 0 ～ S T A 4 5 + 6 0、和賀仙人トンネル東坑口付近及び岩沢本線外仮置場において高速道路本線 (下り線) に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	・設置延長 (L=260m+15m+529m=804m) ・設置月数－78 ヶ月 (全損)	○

土砂防止柵費 (切土のり面用)	S T A 4 5 + 6 0 ~ S T A 4 6 + 6 0 において高速道路本線（下り線）に土砂等の流出防止を目的とした切土のり尻部の柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置延長（L=100m）</li> <li>・設置月数—78 ヶ月（全損）</li> <li>・設置タイプ—Type A、土砂への建て込み</li> </ul>	○
坑外ずり積替え場防護工費	坑外ずり積替え場においてトンネル坑内より搬出された掘削土の飛散防止を目的に親杭横矢板の材料費及び設置・撤去に要する費用をいう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H-300×300×10×15—延長（L=6.5m）—32 本（中古品）</li> <li>松矢板（t =5 cm）— 9.2 m<sup>3</sup></li> </ul>	○
有料道路通行料金費	交通規制工及び仮設防護柵工の施工において必要となる北上西 I C ~ 湯田 I C 間（片道）の通行料金に要する費用をいう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通規制に要する車両台数 北上西 I C ~ 湯田 I C（片道）—40 台</li> <li>・仮設防護柵設置に要する車両台数 北上西 I C ~ 湯田 I C（片道）—49 台</li> </ul>	—